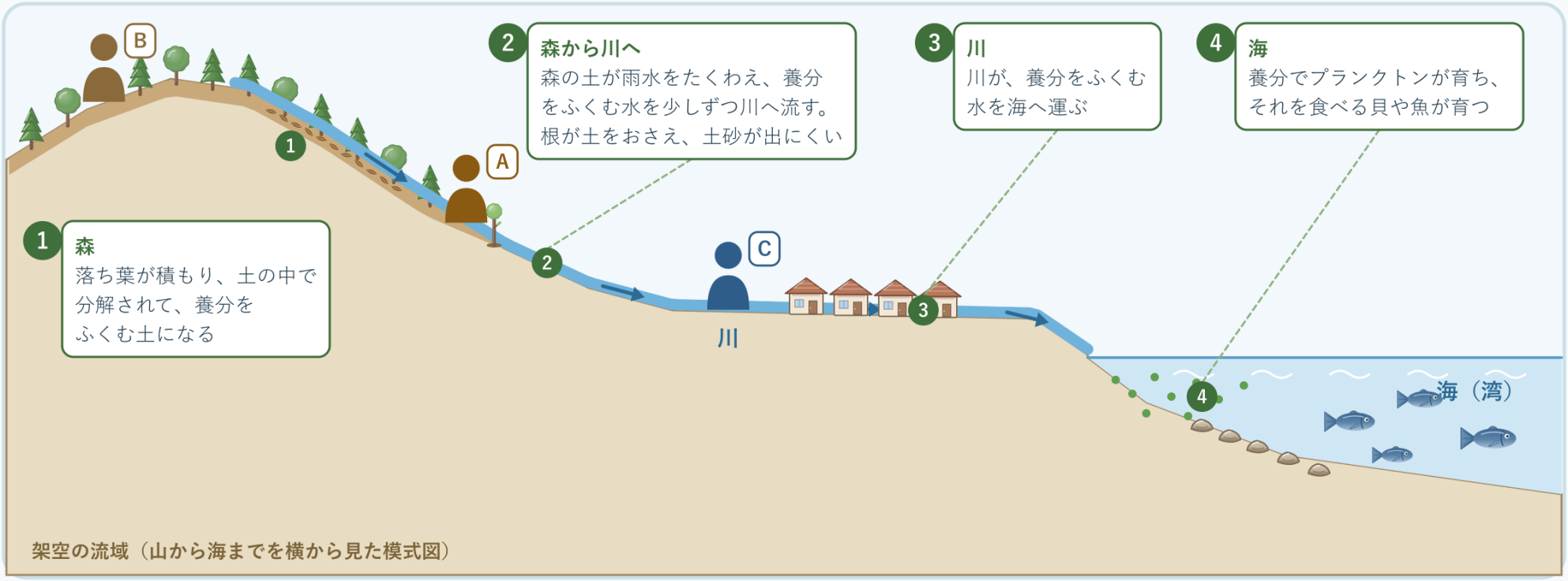
森・川・海のつながりと漁業者の植林

海で漁をする人が、山に木を植えるのはなぜかな



川の流れでつながる人々（流域）の協力

漁業者（海で漁をする人） A
山に木を植え、森づくりを手伝う

↔

林業で働く人 B
下草がりや間ばつで、森の手入れをする

↔

川の近くに住む人 C
川をよごさない。川のそうじをする

漁業者が山に木を植えるわけ

海の生き物を育てるもとの一つは、川の上流の森にある。
森を守ることが、海を守ることにつながると考えて、立場のちがう人々が協力している。

※ 模式図。架空の流域。つながりは単純にした。漁のとれ方は森林だけで決まらない（水温やとりすぎなども関わる）。